

連携アプリケーション再セットアップ手順書

第 1.03 版

2022 年 2 月 28 日

変更履歴

項番	版数	変更理由	変更内容	変更箇所	変更区分 (追加/変更/削除)	年月日
1	1.00	初版作成	初版作成	-		2020/11/16
2	1.01	アンインストールをやめ、上書きインストールへと変更	アンインストールの章を削除 上書きインストールを追加	- 1. 初めに、2. 再セットアップ手順概要、5 上書きインストール後の再設定手順についてアンインストールを上書きインストールに文言を修正 - 4. アンインストールを削除、5. アンインストール後の設定を削除	変更	2020/12/21
3	1.02	上書きインストール時についての注意事項を追加	上書きインストール時についての注意事項を追加	-	追加	2021/3/8
4	1.03	インストーラーのJava 同梱対応	Java 同梱したため不要となった手順を削除	- ⑤Java のコピー	削除	2022/2/28

目次

1. はじめに.....	1
1.1 本書の目的.....	1
1.2 本書の構成.....	1
1.3 本書の対象.....	2
1.4 導入時の前提条件.....	3
2. 再セットアップ手順概要.....	4
3. 連携アプリケーションの定期起動の無効化.....	5
4. 上書きインストール.....	8
5. 上書きインストール後の再設定手順について.....	11

1. はじめに

1.1 本書の目的

本書は、医療機関・薬局等の HIS 等（レセコン含む）既存システム（以下、「既存システム」とする）とオンライン資格確認システムが、ファイル連携するために使用する連携アプリケーションの再セットアップ手順を示す。

1.2 本書の構成

本書の構成を「表 1-1 本書の構成」に示す。

表 1-1 本書の構成

項番	資料名	概要
1	連携アプリケーション再セットアップ手順書 （本書）	オンライン資格確認システムとファイル連携するために必要な、連携アプリケーションの再セットアップ手順を記載した資料

1.3 本書の対象

既存システムとオンライン資格確認システム間の連携には「①連携アプリケーション」、「②Web アプリケーション連携」、「③顔認証連携」及び「④WebAPI 連携」の4つの方式がある。本書は①の連携アプリケーションを対象とする。

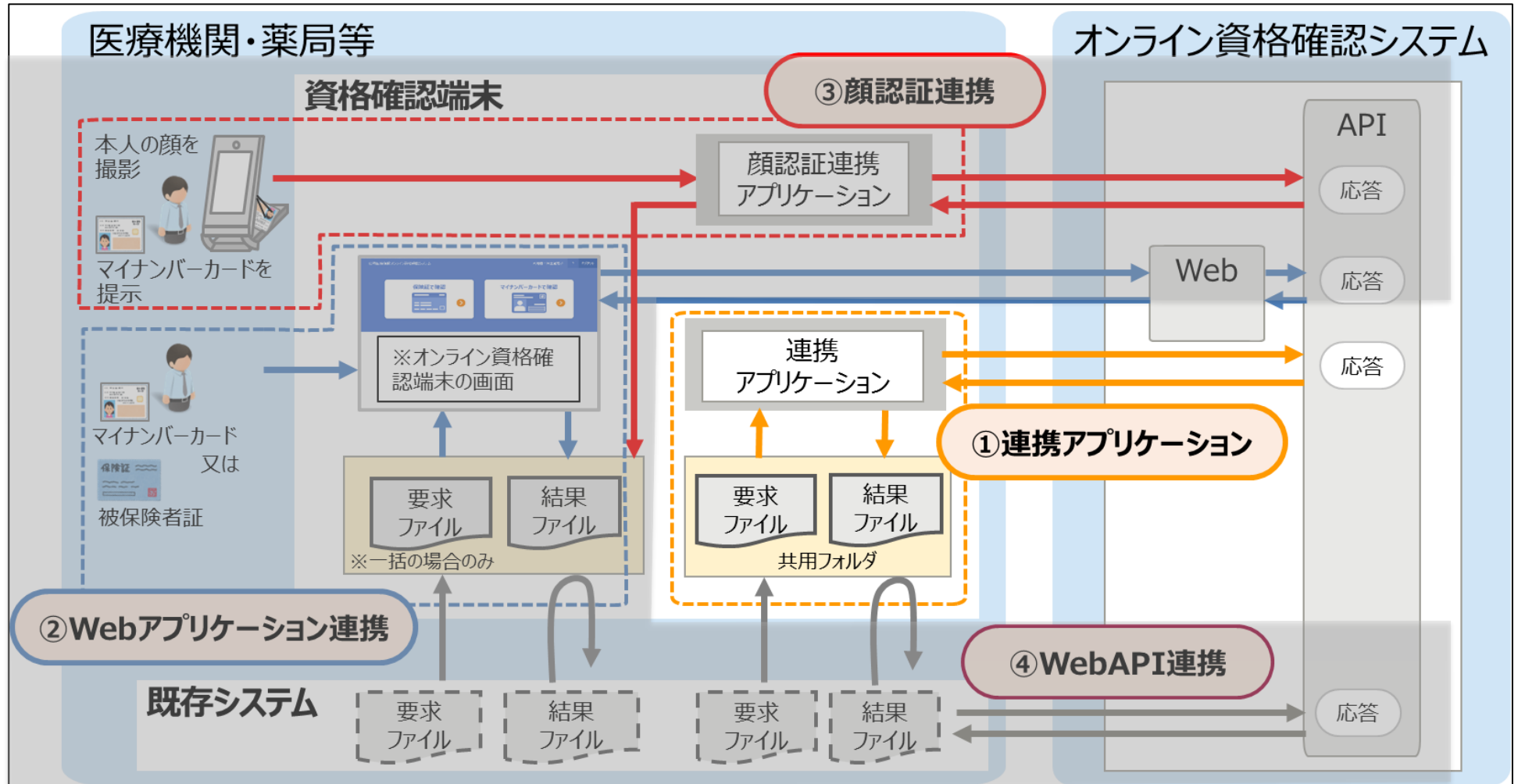


図 1-1 既存システムとオンライン資格確認システム間の処理概念図

1.4 導入時の前提条件

- 連携アプリケーションの再セットアップ設定について、「OqsComApp」ユーザーで操作すること。
- 連携アプリケーションを導入済みであること

2. 再セットアップ手順概要

再セットアップ手順の概要を以下に示す

作業ステップ	作業項目	ツール：作業内容
事前準備	タスクの削除	・スタートメニュー：コンピュータの管理：タスクスケジューラ
上書きインストール	上書きインストール	・インストーラー

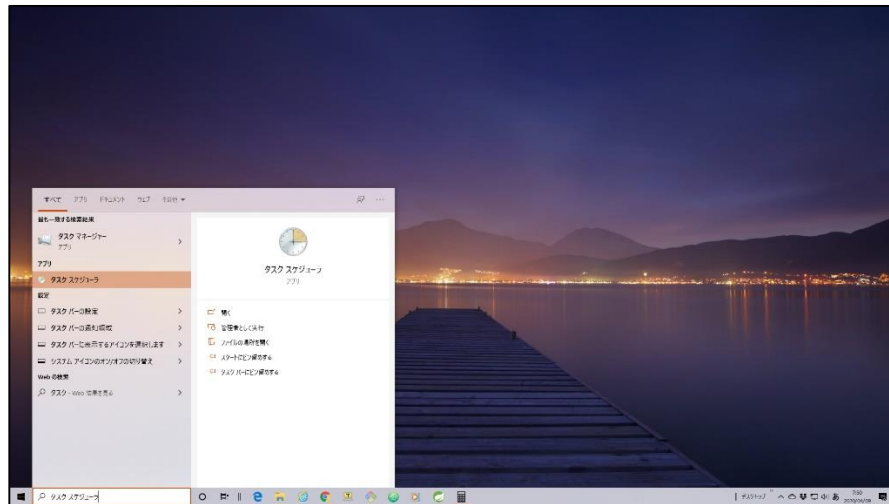
3. 連携アプリケーションの定期起動の無効化

「連携アプリケーション」は、Windows の機能である[タスクスケジューラ]の機能を使用して、定期的に連携ファイルの処理を実行する。
再セットアップ時には以下の手順にて定期起動の無効化を行う。

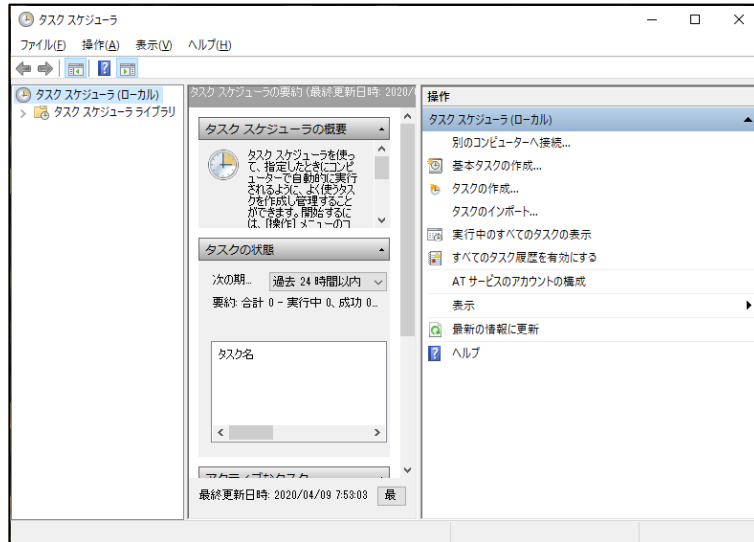
[定期実行の無効化]

タスクスケジューラを起動

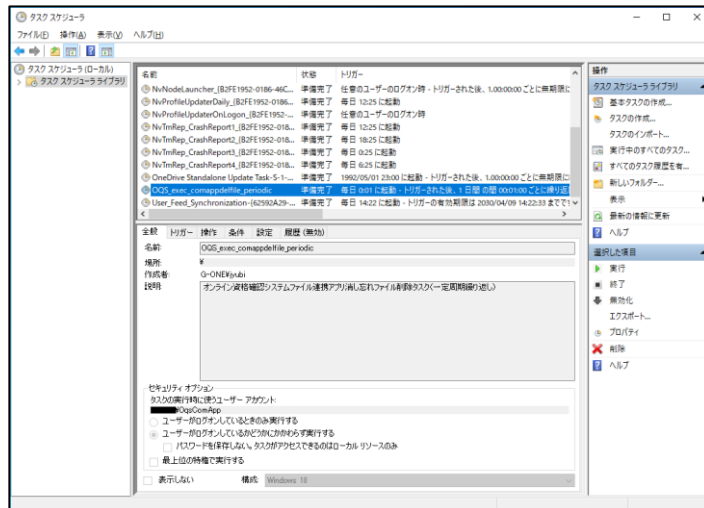
- ① ステータスバーの検索ボックスに「タスクスケジューラ」と入力し、タスクスケジューラを起動する。



[タスクスケジューラ]が起動する



② 左の領域で[タスクスケジューラライブラリ]を選択し、導入手順で追加した[OQS_exec_comappstart]タスクをクリックする。



- ③ 右の領域で無効化をクリックする。
同様に、他の2つのタスクについても、無効化を行う。

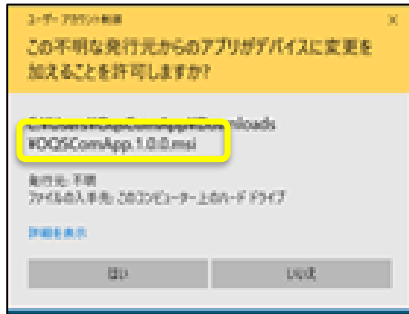
※上書きインストール後に無効化したタスクを、有効化してください。

4. 上書きインストール

- ① 提供物から OQSComApp.zip を取り出し、任意の場所に解凍する。
OQSComApp フォルダの install.bat をダブルクリックする。



- ② ユーザアカウント制御のダイアログに対して「はい」をクリックする。



- ③ インストールが完了すると画面が自動的に閉じられる。
- ④ インストール後、以下のバージョン定義ファイルが存在し、メモ等で開くとバージョンが最新になっていることを確認する。

【バージョン定義ファイル】

C:\Program Files\OQS\OQSComApp\Version.info

※注意

バージョン定義ファイルが存在しない、または存在しても内容が古いままである場合、上書きインストールが失敗しているため、以下の方法でアップデートを実施してください。

- ① 下記ファイルを退避

- ・暗号化識別ファイル (C:\ProgramData\OQS\OQSComApp\config\encrypt.conf)
- ・ユーザー定義ファイル (C:\ProgramData\OQS\OQSComApp\config\UserDefinition.property)
- ・システム定義ファイル (C:\Program Files\OQS\OQSComApp\config\SystemDefinition.property)

- ② 連携アプリの停止

C:\Program Files\OQS\OQSComApp\tools\OQSComAppRestart.bat を管理者で実行

- ③ コントロールパネルの[プログラムのアンインストール]から OQSComApp をアンインストール

- ④環境切り替えツールにて接続先が本番環境となっている場合、環境を接続検証環境に戻す手順を実施(資格確認端末環境切替え手順書を参照)
- ⑤OQSComApp¥OQSComApp.msi(バージョン 1.1.0 以降)の実行 (install.bat ではなく)
- ⑥下記ファイルに戻す
 - ・暗号化識別ファイル (C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥encrypt.conf)
 - ・ユーザー定義ファイル (C:¥ProgramData¥OQS¥OQSComApp¥config¥UserDefinition.property)
 - ・システム定義ファイル (C:¥ Program Files¥OQS¥OQSComApp¥conf¥SystemDefinition.property)
- ⑦④にて接続先を変更した場合、環境を本番環境に戻す手順を実施(資格確認端末環境切替え手順書を参照)

5. 上書きインストール後の再設定手順について

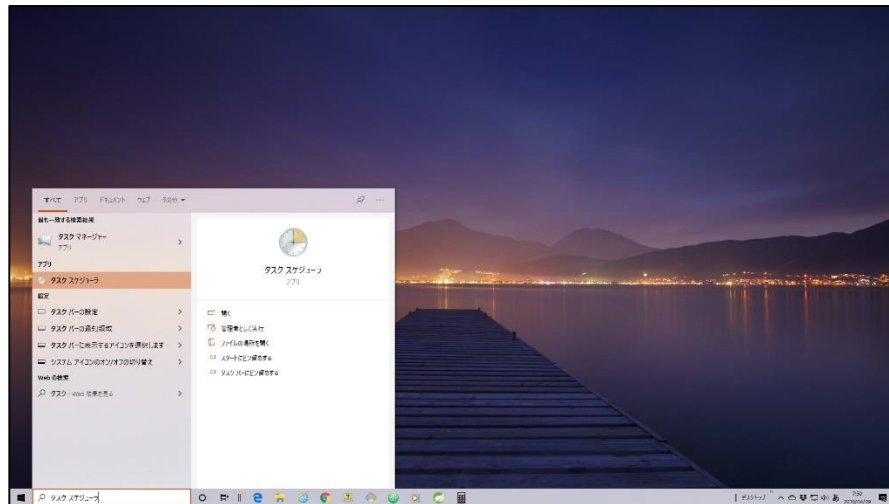
上書きインストール後には、以下の手順と別紙「連携アプリケーション導入手順書」の6. 導入後の動作確認手順を実施ください。

- ・ 連携アプリケーションの定期起動の設定(タスクの有効化)

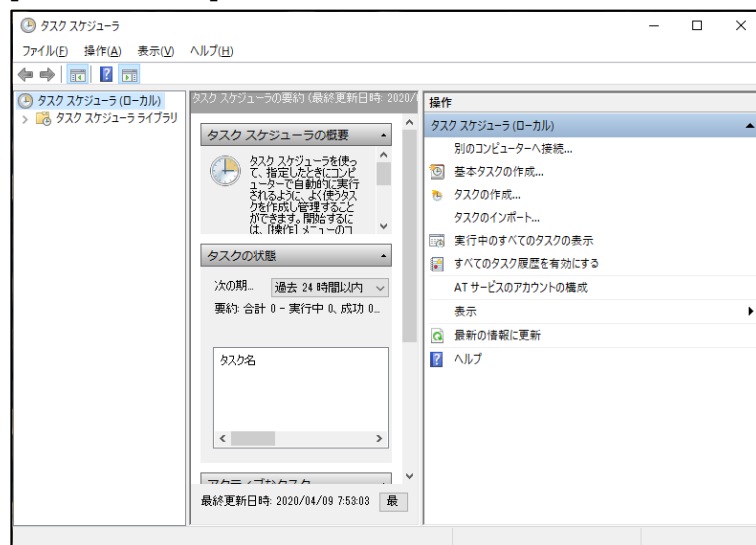
[定期実行の有効化]

タスクスケジューラを起動

- ③ ステータスバーの検索ボックスに“タスクスケジューラ”と入力し、タスクスケジューラを起動する。



[タスクスケジューラ]が起動する



- ④ 左の領域で[タスクスケジューラライブラリ]を選択し、導入手順で追加した[OQS_exec_comappstart]タスクをクリックし、右の領域で有効化をクリックする。

同様に、他の2つのタスクについても、有効化を行う。

- 6. 導入後の動作確認手順